

Campus ASEAN
(ベトナム / ラオス・ミャンマー)
短期派遣 募集要項

1. 目的：

文部科学省は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国・欧州等の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的として、2011年より「大学の世界展開力強化事業」を実施しています。

2012年、名古屋大学法学部・法学研究科、法政国際教育協力研究センター（CALE）は、国際開発研究科、経済学部・経済学研究科、農学部・生命農学研究科、農学国際教育協力センターとともに、“ASEAN地域発展のための次世代国際協力リーダー養成プログラム”（以下、「プログラムA」という）を実施しており、今年度で4年目を迎えます。本プログラムはASEAN地域と日本をつなぐ経済、法、政治、外交等の諸分野で共通認識をもった次世代の担い手育成が目的とされています。

また、2016年9月には、経済学部・経済学研究科、農学部・生命農学研究科、農学国際教育協力研究センター、国際開発研究科、環境学研究科、多元数理科学研究科とともに、“ASEANと日本を繋ぐ「グローバル・ソフトインフラ基礎人材」育成プログラム”（以下、「プログラムB」という）に採択されました。本プログラムは、ASEAN共同体形成など、経済統合が進む中、国境を跨ぐ諸問題を協働で解決するために、経営・経済・法・政治・環境・農業・高等数学の専門基礎力を備えたグローバル人材を養成することを目的としています。

今回、上記事業の一環として、ベトナム（プログラムA）およびミャンマー・ラオス（プログラムB）への短期研修を実施します。本プログラムを通じて、アジアに精通し、アジアの発展に貢献するグローバルリーダーを育成します。

2. 応募資格・適性：

①名古屋大学法学部・法学研究科（法科大学院含む）の正規課程に在籍する学生。

（但し、プログラムの趣旨により日本人学部生を優先）

②積極的/主体的/自律的/協力的な

- ・派遣前研修等への参加
- ・派遣後報告会等への参加
- ・報告書等の作成
- ・研修以降の SEND 関連プログラム等への協力を
行える者。

③プログラム参加にあたり問題のない健康状態であること。

④現地の生活に適応する意欲がある者。

⑤英語による講義が理解できることが望ましい。

⑥「比較法制演習 I」「比較法制演習 II」を受講済みであることが望ましい。

※ベトナム短期派遣のみ

原則として、事前集中講義「ASEAN 諸国における法と政治」を履修し、単位を取得していること（4年生で事前集中講義の単位取得のない学生は、JASSO 奨学金には申請できません）。

3. JASSO(独立行政法人 日本学生支援機構)奨学金応募資格：

当プログラム参加者は JASSO の奨学金(給付額 7 万円)への申込が可能です。

申込条件：

(ア) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者。

(イ) 「プログラム関連の単位を取得すること。」

(ウ) 設定された以下の語学水準を満たすこと。

語学水準 英語の場合の目安：TOEIC 400 点以上 (TOEFL の場合、PBT435 点以上、CBT123 点以上、iBT41 点以上、IELTS5.0(Academic Module)以上。もしくは前年度の語学成績で成績評価係数 2.3 以上。

(エ) 設定された以下の成績水準を満たすこと。

学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、選考時の前年度の成績評価係数が 2.30 以上であること。前年度の成績がない場合は、選考時の前学期分の成績から算出するものとする。なお、成績評価係数で表すことができない場合は、別に定める様式に、特に成績が優秀であり、成績評価係数 2.30 以上であるとする理由を明記すること。

	成績評価			
評価点数	100～80	79～70	69～60	59 以下
	優	良	可	不可
	S, A	B	C	F
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式

(「評価ポイント 3 の単位数」×3) + (「評価ポイント 2 の単位数」×2) + (「評価ポイント 1 の単位数」×1) + (「評価ポイント 0 の単位数」×0) ÷ 総登録単位数

(オ) 在学中にフォローアップのための追跡調査に協力すること。

(カ) 経済的理由により、自費のみでの参加が困難であること。

原則として以下の家計基準の目安以下に合致するもの。

家計基準の目安

区分	給与所得世帯	給与所得以外の世帯
大学	907 万円程度	421 万円程度
大学院 (修士)	本人及び配偶者の収入	486 万円程度
大学院 (博士)		553 万円程度

(キ) 派遣に必要な査証を確実に取得すること。

(ク) 所定の報告書等を作成し、期日までに提出すること。

※他団体などから奨学金を受けている学生は、当奨学金との併用が認められない奨学金もあるので応募時に申し出ること。また、JASSO の奨学金も登録時に必要なため、同じく事前に必ず申し出ること。

4. 活動内容 (予定)：

- ① 派遣前研修 (英語・日本語によるプレゼンテーションの準備、各国一般事情および法律・政治制度などの学習、日本語・文化指導支援の際の心得等)
- ② 現地大学において学生との討論や交流、英語による講義の受講

- ③法律関係機関見学（裁判所、国会、司法省等）
- ④海外で活躍する日本人起業家、名大修士等との交流
- ⑤日本法教育研究センターなどでの社会科学分野の日本語教育支援、日本文化・日本法紹介

5. プログラム詳細（予定）：

ベトナム	ミャンマー・ラオス
1. 派遣先：ベトナム（ハノイ・ホーチミン）	1. 派遣先：ミャンマー（ヤンゴン） ラオス（ヴィエンチャン）
2. 派遣時期：2017年2月13日(月)の週から 約10日間	2. 派遣時期：2017年3月6日(月)の週から 約10日間
3. 募集人員：10名	3. 募集人員：7名
4. 費用：往復航空券運賃補助あり 宿泊費は自己負担 滞在活動費等として、JASSO 奨学金 (給付額7万円)への申込が可能	4. 費用：往復航空券運賃補助あり 宿泊費は自己負担 滞在活動費等として、JASSO 奨学金 (給付額7万円)への申込が可能
5. 日程詳細：2月13日(月)名古屋発 ハノイ着 2月18日(土)ハノイ発 ホーチミン着 2月23日(木)ホーチミン発 名古屋着	5. 日程詳細：3月6日(月)名古屋発 ミャンマー着 3月11日(土)ミャンマー発 ラオス着 3月17日(金)ラオス発 タイ(バンコク)着 3月18日(土)タイ(バンコク)発 名古屋着

注意事項：派遣日程は、派遣生決定後に最終的に決定します。上記から変更する可能性はありますが、派遣生との相談・同意なしに大きな変更を行うことはありません。

- 6. 応募受付締切：2016年10月31日（月）正午12:00 厳守
- 7. 選考方法：書類選考＋面接（予定：11月上旬～中旬）
- 8. 提出書類：指定の願書、成績証明書（日・英）、面接日程調整のための時間割表
- 9. 提出先：アジア法交流館1階 法政国際教育協力研究センター(CALE) 担当：的場・松本

問合せ先

アジア法交流館1階 法政国際教育協力研究センター(CALE)

キャンパス・アセアン担当：的場・松本・牧野

TEL：052-789-4263

E-mail：asean@law.nagoya-u.ac.jp